

〒163-1030 東京新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワーN30階
TEL 03-5326-3432 <https://jamt-cancer.org/>

NEW!

Contents

1. 新『海外がん医療情報リファレンス』
 2. 理事長ご挨拶
 3. 『海外がん医療情報リファレンス』
活動報告
 4. 動画配信
 5. 患者会・他団体への協力
 6. 翻訳のヒント
 7. 「がん領域における情報化と、治療薬
へのアクセス」副理事長
 8. 事務局からのお知らせ
 9. 組織概要
 10. 広告協賛企業
- 《付録1》用語注意2022年度
《付録2》FDA承認リスト

1. 新『海外がん医療情報リファレンス』

『海外がん医療情報リファレンス』は、新サイトへ移行します。表面的には大きく変わりませんが、閲覧者の方々に配慮した記事分類や、SEO対策を強化したサイトの改善を行っています。これまでのニュース記事配信に加え、海外の数多くの情報ソースから最新情報の取得が可能になるRSS機能を装備したページや、エビデンスに基づく情報の解説を含め、今後はITやAIにも対応できるサイト作りに取り組みます。

<パソコンから>



<スマホから>

2. 理事長ご挨拶

久保田 馨

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生から3年を過ぎました。飲食店の営業時間制限などは無くなりましたが、まだ感染症対策が必要です。2020年のがん検診受診者数は前年より3割程度減少しました。2021年の受診者は増加したものの、コロナ前に比べると未だ1割ほど低い状況でした。数年遅れての進行がん患者の増加が懸念されます。

JAMTでは、がん診療に関する最新の海外情報を継続的に掲載しています。関わっていた方々に心から感謝申し上げます。がんの克服は治療法の改善のみならず、日々の健康的な生活習慣が大切であることが海外がん医療情報リファレンスに掲載された記事からも分かります。今後ともJAMTにご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

3. 『海外がん医療情報リファレンス』 活動報告

◆ ボランティアサイト『海外がん医療情報リファレンス』 運営状況

約280 記事、JAMT動画1本、NCI動画 8 本を配信（2月末時点）

《主な英文記事の発信元》

- 米国国立がん研究所（NCI） - NCI ニュース
- 薬剤情報（A-Z）
- FDA 新薬承認ニュース
- 学会ニュース
 - ・ 米国臨床腫瘍学会（ASCO）
 - ・ 欧州臨床腫瘍学会（ESMO）
 - ・ 米国癌学会（AACR）
- 大学／施設ニュース
 - ・ MD アンダーソンがんセンター
 - ・ ジョーンズホプキンス、ダナファーマーがん研究所、他
- その他
 - ・ キャンサーリサーチ U.K
 - ・ Cancer.Net（ASCO 患者サイト）

《動画制作》

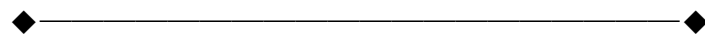
- 米国国立がん研究所（NCI）
- JAMT政策動画

◆ JAMT（ジャムティ）活動カレンダー 2022

4 月	● コクラン共同計画への翻訳協力（4月～7月） ● 毎月（4月～翌3月）、国際脳腫瘍ネットワーク IBTA（International Brain Tumor Alliance）e-News 和訳を日本脳腫瘍ネットワーク（JBTA）に提供（JBTAサイトに掲載） ● ウェブサイト高速化
6 月	● 「国際胃癌教育シンポジウム」（胃癌患者会「希望の会」が参加）昨年につき、患者カンファレンスに同時通訳を提供 ● 世界腎がんデー2022ウェブセミナー（IKCC）「治療選択肢について話し合う」の日本語訳・文字起こし
9 月	● JAMTが動画制作『英語ページをブラウザで自動翻訳する方法』 ● 世界腎がん連合（IKCC）グローバル患者アンケート調査の日本語訳を日本の腎がん患者会 avecに提供 ● 「今後のJAMT活動について」アンケートを翻訳者・監修者対象に実施
11 月	● 「ゲノム推進法案」制定のための超党派「適切な遺伝医療を進めるための社会的環境の整備を目指す議員連盟」に賛同団体として署名
12 月	● 事業年度終了 決算
2月	● 理事会/総会
3月	● 新『海外がん医療情報リファレンス』公開 ● 2022年度『海外がん医療情報リファレンス』ニュースレターPDF版を発行

4. 動画配信

◆ JAMT動画 「英語ページをブラウザで自動翻訳する方法」



～英語ページをブラウザで自動翻訳する方法～

【目次】

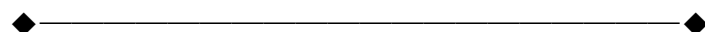
0:07 WINDOWSをお使いの方 1. Chromeの場合

2:14 WINDOWSをお使いの方 2. Edgeの場合

4:19 MACをお使いの方 Safariの場合

4:59 スマホ iPhone

5:19 スマホ アンドロイド



★注目!!

英語ページをブラウザで
自動翻訳する方法

目次

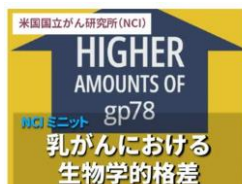
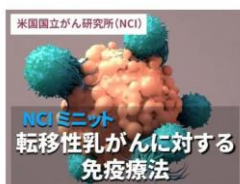
- WINDOWSをお使いの方 1. Chromeの場合
2. Edgeの場合
- MACをお使いの方 1. Safariの場合
- スマホ iPhone、アンドロイド



英語ページをブラウザで
自動翻訳する方法

◆ 『米国国立がん研究所（NCI）動画字幕

- ・ [小児がんドライバー遺伝子](#)
- ・ [NCIミニット：転移乳がん免疫療法](#)
- ・ [NCIミニット：CAR-T細胞免疫療法](#)
- ・ [NCIミニット：子宮がんの死亡率](#)
- ・ [がんムーンショット計画：ヒトとイヌの比較腫瘍学](#)
- ・ [星細胞腫サバイバーと介護者の旅路](#)
- ・ [乳がんにおける生物学的格差](#)
- ・ [NCIミニット：運動とがん](#)
- ・ [NCIミニット：元喫煙者と健康について](#)



5. 患者会・他団体への協力

◆コクラン共同計画への翻訳協力（2022年7月まで）

- 「[がん患者の血栓の初期治療としての抗血栓薬](#)」
- 「[大腸がん患者の手術に備えた複数の介入](#)」
- 「[婦人科がん患者に対する手術後の周術期回復強化プログラム](#)」
- 「[腹腔鏡手術時に腹腔内に送気する各種の気体について](#)」

◆患者会への活動協力

- IBTA e-Newsを和訳、日本脳腫瘍ネットワーク（JBTA）に提供
JBTAウェブサイト「[月刊ニュースレター](#)」に掲載
- JAMTは、IBTAコロナ禍における国際脳腫瘍患者のアンケート調査にも、JBTAとともに協力
- 世界腎がん連合（IKCC）グローバル患者アンケート調査の和訳
- 世界腎がんデー2022年ウェブセミナー「治療選択肢について話し合う」の和訳・テープ起こし
- 希望の会
希望の会を通じて、胃がんの国際患者会議で通訳（有償）



NPO 脳腫瘍ネットワーク
法人 JAPAN BRAIN TUMOR ALLIANCE



世界腎がんデー2022
治療の選択肢について
話しましょう
2022年6月16日



6. 翻訳のヒント（付録1「用語注意」参照）

翻訳者の皆さまには、疑問点にマーカーを付ける、信頼できる引用元をコメントに記載するなど、提出時に工夫していただき、また、新たな視点からご質問をいただくこともあり、担当者間の連携を意識しながら円滑に作業を進めるうえで大変助かっております。

現在、皆さまにはDeepLによる機械翻訳を経たポストエディットという形で作業をお願いしております（有償案件を除く）。メリットも大きいのですが、完全に依存してしまいますと、専門用語の調査不足で思わぬ誤訳につながる、日本語として係り受けが不自然な文章に仕上がるといった可能性があります。

サイト閲覧者が求める「わかりやすさ」と「内容の正確さ」を兼ね備えた訳文を提供するには、引き続き、翻訳者、監修者、カテゴリスタッフといったマンパワーによるきめ細やかな確認作業が欠かせない状況です。さまざまな作業工程において、皆さまの日頃のボランティア翻訳へのご尽力に心より御礼申し上げますとともに、今後とも「正確」かつ「スピーディー」な記事配信へのご協力をお願い申し上げます。

佐々木真理（タイトルチェック・翻訳アドバイザー担当）

7. がん領域における情報化と、治療薬へのアクセス

副理事長 野中 希

本年度も『海外がん医療情報リファレンス』にご協力を賜り、ありがとうございました。
この春、JAMT（ジャムティ）事務局内も新体制で新たな息吹が生まれています。

インターネットの自動翻訳の装備、普及により、これまで当サイトで翻訳許諾が得られなかった情報も一般の方や患者さんが原文から無制限に閲覧できるようになってきました。医学ジャーナルならびにPubMedの元論文を日本語で参照したり、世界中の臨床試験を集積したClinicalTrials.govサイトを患者さんご自身が利用することも可能になります。さらに今、ChatGPTが話題騒然となっています。AIは、収穫加速の法則にしたがいネットの世界および現実を変えてゆくでしょう。どのような社会になるのか想像さえ難しいです。

言語によるがん情報の国境はなくなりつつある一方で、日本では、ドラッグラグ/ドラッグロスの再燃が起きており、問題が膨らんでいるといえます。世界に治療法があっても日本で使えない薬が大幅に増えていくという、一度は克服したかに思えたがん治療薬へのアクセス問題が年々深刻化しています。（「国内で薬機法上未承認・適応外である医薬品・適応のリスト」国立がん研究センター 参照）

また本年は、JAMTも昨年賛同表明をした「ゲノム推進法案」の成立も待たれます。政府や企業、医療機関/患者団体などすべてのステークホルダーが一層力を合わせ、より良いがん医療を推進できればと思います。次年度も、引き続き『海外がん医療情報リファレンス』をよろしくお願い申し上げます。

8. 事務局からのお知らせ

- 2022年会計報告(1月～12月)についてはJAMTオフィシャルサイトへ3月中に掲載予定です。
- 次年度のボランティア登録につきましては、Googleフォームの提出をもって行います。
- 年会費（継続4000円、患者さん2000円）につきましては、次年度も任意となります。

本年度中は、誠にありがとうございました。

新年度も引き続き、当会へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

9. 組織概要

名称	一般社団法人日本癌医療翻訳アソシエイツ																			
所在地	〒163-1030 東京新宿区西新宿 3 - 7 - 1 新宿パークタワーN30階																			
連絡先	office@jamt-cancer.org																			
	TEL 03-5326-3432 （常駐ではありません）																			
設立年度	2009年4月1日																			
ボランティア 翻訳所属 メンバー	ボランティア翻訳者：約100名 監修者：52名																			
2022年度 役員	<table><tr><td>理事長</td><td>久保田 馨</td><td>医師／日本医科大学呼吸ケアクリニック</td></tr><tr><td>副理事長</td><td>野中 希</td><td>医療翻訳者</td></tr><tr><td>理事</td><td>東 光久</td><td>医師／奈良県総合医療センター 総合診療科</td></tr><tr><td>理事</td><td>後藤 悌</td><td>医師／国立がん研究センター 呼吸器内科</td></tr><tr><td>理事</td><td>佐復 純子</td><td>医療翻訳者</td></tr><tr><td>監事</td><td>寺田 真由美</td><td>映像翻訳者</td></tr></table>		理事長	久保田 馨	医師／日本医科大学呼吸ケアクリニック	副理事長	野中 希	医療翻訳者	理事	東 光久	医師／奈良県総合医療センター 総合診療科	理事	後藤 悌	医師／国立がん研究センター 呼吸器内科	理事	佐復 純子	医療翻訳者	監事	寺田 真由美	映像翻訳者
理事長	久保田 馨	医師／日本医科大学呼吸ケアクリニック																		
副理事長	野中 希	医療翻訳者																		
理事	東 光久	医師／奈良県総合医療センター 総合診療科																		
理事	後藤 悌	医師／国立がん研究センター 呼吸器内科																		
理事	佐復 純子	医療翻訳者																		
監事	寺田 真由美	映像翻訳者																		
監修者	《海外がん医療リファレンス》医療記事監修協力者一覧																			
ご寄付/会費 振込先	【振込先1】 ゆうちよ銀行 【記号】 10030 【番号】 78505391 【名義】 一般社団法人 日本癌医療翻訳アソシエイツ	【振込先2】 三菱UFJ 銀行 【支店】 仙川支店 【番号】 0072693 【名義】 一般社団法人 日本癌医療翻訳アソシエイツ																		

《法人正会員》 株式会社バリアン メディカル システムズ
■正/賛助会員 入会については[JAMTを支援する](#)をご覧ください。

運営サイト

- 海外がん医療情報リファレンス <https://www.cancerit.jp/>
- JAMTオフィシャルサイト <https://jamt-cancer.org/>

Twitter

- 海外がん医療情報リファレンス cancer_ref
- 日本癌医療翻訳アソシエイツ jamt_cancer



Facebook

- 海外がん医療情報リファレンス cancerreference
- 日本癌医療翻訳アソシエイツ jamtforcancer

10. 広告協賛企業（順不同）

「海外がん医療情報リファレンス」運営支援をいただいた企業様に厚く御礼申し上げます。

中外製薬株式会社	日本化薬株式会社	第一三共株式会社
大鵬薬品工業株式会社	小野薬品工業株式会社	

《付録 1》用語注意2022年度

用語	説明
potential	すべて「潜在的な」と訳す方がいらっしますが、「候補」、「可能性」などと訳し分けたり、場合によっては敢えて訳出しない方がいい場合もあります。
resource(s)	カナ書きしがちですが、文脈に応じて「情報源」、「医療資源」、「資材」、「資料」などと訳し分ける必要があります。
the most common adverse event	「最も一般的な」と訳しがちです。一番多いのが「最も多くみられた有害事象」という訳です。間違いではありませんが、「特に多くみられた有害事象」とするよう、校閲でも修正が入ることが多いです。項目が2つくらいなら「最も」でもよいですが、5個も10個もある場合、日本語として「最も多い」という言葉は不自然です。また、「common」が他の文脈で使用された場合も、「一般的な」とは訳さない方がいい場合が多いです。
previously treated, received prior therapy	治療歴のある、既治療の ○ 前治療歴 ×
decreased hemoglobin	複数の監修者から、有害事象では一般向けに「貧血」とするよう修正があった
follow-up	カナ書きするのではなく、次に来る単語との組み合わせで、こなれた日本語にしてほしいと考えています。 例： follow-up study、follow-up call、follow-up test、follow-up period など。
(high) tumor burden	腫瘍量（の多い）
KRAS protein	○ KRASタンパク × KRASタンパク質
genetically engineered mouse model	○ 遺伝子改変マウスモデル × 遺伝子操作マウスモデル
endocrine treatment	内分泌療法→ ホルモン療法 （一般的なこちらで統一）
recommendation	ガイドラインに関する文脈では、「推奨」と訳す
Follow-up test	検診に関する文脈で （検診後の要精検者に対する）精密検査
precancerous growth	前がん病変
National Comprehensive Cancer Network（NCCN）	過去記事では「米国国立包括がんセンターネットワーク」となっており、ネット検索では「全米包括的がんネットワーク」などがヒットしますが、「米国総合がんセンターネットワーク（NCCN）」で統一。
lead-in	「導入期間を含めて」（lead-in: 導入コホートも含めてという意味で、まず、lead-inコホートとして投与中に重大な副作用がないか調査する群があり、その終了後本格的な治験に入るため、導入群のほうフォローアップ期間が長い。"a median follow-up of 11 months and lead-in follow-up of 19 months"「追跡期間の中央値は11カ月、導入期間を含めて19カ月」）（北尾先生より）
hormone-suppressing therapy	○ホルモン除去療法 ×ホルモン抑制療法
seizure	○けいれん ×発作 （がん治療の副作用の文脈で）
practice changing	日常診療を変える
conditioning	移植前処置 移植前の化学療法・TBI(total-body irradiation)を総称して「移植前処置(conditioning)」と呼ぶことが多い
active brain metastases	活動性脳転移（新規の脳転移が見つかった状態あるいは脳転移の進行が見られているが、それに対して放射線照射などの局所治療が行われていない状態）
whole genome sequencing（WGS）	全ゲノムシーケンシング
tumour agnostic	腫瘍の臓器横断的、 * tumour agnostic therapy 臓器横断的治療
nasopharyngeal cancer	上咽頭がん

《付録2》FDA承認リスト

掲載日	ニュースタイトル
2022年1月25日	FDAが切除不能／転移ぶどう膜メラノーマに対し初のTCR-T細胞療法としてtebentafuspを承認
2022年2月28日	FDAが再発／難治性多発性骨髄腫にciltacabtagene autoleucelを承認
2022年3月4日	FDAが早期肺がん にニボ＋プラチナ製剤2剤併用療法による術前療法を承認
2022年3月18日	FDAが切除不能または転移メラノーマにニボ＋レトリマブの配合剤を承認
2022年3月23日	FDAが転移去勢抵抗性前立腺がん にlutetium Lu 177 vipivotide tetraxetanを承認
2022年4月1日	FDAがリンパ腫（LBCL）の二次治療にアキシカブタゲン シロルユーセル（販売名：Yescarta [イエスカルタ]) を承認
2022年5月25日	FDAが初発の白血病（AML、若年性骨髄単球性白血病）にアザシチジンを承認
2022年5月27日	FDAが再発または難治性の濾胞性リンパ腫にチサゲンレクルユーセル（販売名：Kymriah [キムリア]) を承認
2022年5月27日	FDAが食道扁平上皮がんの一次治療にニボ＋化学療法／イピリムマブ（販売名：ヤーボイ）併用を承認
2022年6月22日	FDAがダブラフェニブ（販売名：タフィンラー）＋トラメチニブ（販売名：メキニスト）併用をBRAF V600E変異陽性の切除不能/転移性固形がん に迅速承認
2022年6月24日	FDAが大細胞型B細胞リンパ腫の二次治療にリソカブタゲン マラルユーセル（販売名：Breyanzi [ブレイランジ]) を承認
2022年8月5日	FDAがHER2低発現乳がん にトラスツズマブ デルクステカン（販売名：エンハーツ）を承認
2022年8月11日	FDAがHER2変異非小細胞肺がん にトラスツズマブ デルクステカン（販売名：エンハーツ）を迅速承認
2022年8月26日	FDAがFGFR1再構成を有する再発または難治性の骨髄／リンパ腫瘍にペミガチニブ（販売名：ペマジール）を承認
2022年9月2日	FDAが局所進行／転移性胆道がん にデュルバルマブ（販売名：イミフィンジ）を承認
2022年9月20日	FDAが限局非転移固形がん小児患者のシスプラチン聴器毒性低減にチオ硫酸ナトリム（販売名：Pedmark [ペドマーク]) を承認
2022年9月21日	FDAが局所進行／転移性RET融合陽性固形腫瘍にセルペルカチニブ（販売名：レットヴィモ）を承認
2022年9月30日	FDAが胆管がん にフチバチニブ（販売名：Lytgobi）を迅速承認
2022年10月25日	FDAが再発または難治性多発性骨髄腫にteclistamab [テクリスタマブ]（販売名：Tecvayli [テクベイリ]) を承認
2022年11月8日	FDAが非小細胞肺がんの併用療法にセミブリマブを承認
2022年11月10日	FDAが古典的ホジキンリンパ腫の小児にブレンツキシマブ ベドチン＋化学療法併用を承認
2022年11月10日	FDAが肺がん（NSCLC） にトレメリムマブ＋デュルバルマブ＋化学療法併用を承認
2022年11月14日	FDAが卵巣／卵管／腹膜がん にミルベツキシマブ ソラブタンシンを迅速承認
2022年12月1日	FDAが再発/難治性急性骨髄性白血病にオルタシデニブ を承認
2022年12月12日	FDAがKRAS G12C変異陽性非小細胞肺がん にアダグラシブを迅速承認
2022年12月16日	FDAが膀胱がん にアデノウイルスベクターによる遺伝子療法薬を初承認